



3



2



造

かわちながの ものづくり探訪

Made in Kawachinagano

作

11

創

品質の高い薬を 世に送り出す

カイゲンファーマ株式会社

- 1 昔ながらのスタイルを今も維持する「改源」の製造機械
- 2 品質管理を徹底することが大切と語る田野岡工場長
- 3 大正13年頃のレトロなパッケージ
- 4 「改源」やX線造影剤などの製品ラインナップ
- 5 機械と人の目による厳密な検査後に出荷

かぜ薬の「改源」といえば風神さんの名セリフ「かぜひいてまんねん」のテレビCMを思い出す人も多いのではないでしょう。本市松ヶ丘中町にあるカイゲンファーマ株式会社長野工場では、かぜ薬「改源」や胃の検診で飲むX線造影剤（硫酸バリウム）が生産されています。

昭和40年頃から本市で生産が開始されたという「改源」の歴史は古く、大正7年には神戸市で作られ、「当時はお茶と一緒に飲むことができる薬と宣伝していたようです」と同社長野工場の田野岡工場長は語ります。ま

た、「改源」の語源は中国古典（孟子の言葉）の「幡然と改め」「源々として来る」という言葉から命名、「日々新たな、また新たな」という意味で、今も基本的な心構えとして同社社員に受け継がれています。

薬包紙に機械で薬を充填する昔ながらの製法が続けられている「改源」ですが、日々薬包紙の改良もされていて、粉のすべりをよくすることで飲みやすさを追及しているのだとか。服用のときに薬包紙を開くと直接薬を目にするのができるのも消費者には安心なのか、比較的年配の人からは多くの支持を得ています。

同工場のもう一つの主力製品のX線造影剤は、通常水に混ぜると分離しやすいバリウムを独自の添加剤を配合することで、粘度を上げ、沈降しにくいものに改良。これら技術的な工夫と営業部門の努力が相まって、今では国内バリウム消費量



カイゲンファーマ株式会社

カイゲン、共成製薬、堺化学工業医薬事業部の3社が統合されて2013年に発足。同社長野工場ではかぜ薬「改源」やX線造影剤「バリトッ」が主力生産品。松ヶ丘中町 1330-1 ☎ 53-5401 <http://www.kaigen-pharma.co.jp>

「薬の生産とは、同じ規格・品質の商品を作り続けることです。もちろん、異物混入はもつてのほかです」と力を込める工場長。同工場では生産ラインでの防塵服着用、入場の際に送風室で埃を飛ばすなど、異物混入を防ぐ対策が徹底されています。さらに最終検査では高い技術と経験豊富な従業員が不具合をチェック。同社では工場で働く者全員が一丸となつて高品質の薬を今日も世に送り出しています。

1983年からCM出演した風神さんも現在は2代目

